

入場料金のご案内

	大人	中人 (高校生)	小人 (小・中学生)	6歳未満
一般	400円	300円	160円	無料
団体(20名以上)	320円	240円	120円	
年間パスポート	800円	600円	320円	

- モノレールのフリー乗車券(1日券・2日券)を券売所窓口にてご提示いただくと、団体料金が適用されます。
- 学校行事の場合は、20名未満でも団体料金の適用が可能です。(要事前申込)
- 心身に障がいのある方、および付き添い者1名は無料で入場できます。券売所窓口にて、身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳をご提示ください。

営業時間のご案内

	4月~6月/10月~11月	7月~9月	12月~3月
有 料 区 域	8:30~19:00	8:30~20:00	8:30~18:00
入場券販売締切	18:30	19:30	17:30
無 料 区 域・ 駐 車 場	8:00~19:30	8:00~20:30	8:00~18:30

- 城壁等のライトアップを日没からご覧いただけます。

イベント情報



御開門
(うけーじょー)
開門を告げる朝の儀式
①毎日8:25~ ②奉神門
※休場日および荒天時は中止となります。



最新情報はこちら



東のアザナ 時報解説・体験会
①11:55~(10分程度)
②首里城公園 東のアザナ(有料エリア)
参加費：無料(※東のアザナへは当日有効な入場券が必要です。年パス可)
※雨天時は中止となります。



**首里城60分
ぐるっとガイドツアー**
解説員が復興の進む有料区域を含めた公園内を60分でご案内するツアーです。
① 毎日8:15~/9:15~/16:00~
※当日空きがあればご予約なしでも受付できます。
② 首里杜館 B1F 総合案内所付近
参加費：1,000円/人(中学生以上)

交通のご案内

1.モノレール(ゆいレール)

モノレール(ゆいレール)の場合、首里駅または儀保駅にて下車。徒歩約15分で守礼門に到着。

2.観光バス・乗用車・タクシー

那覇空港から約10km 所要時間約40~50分。
首里杜館(すいむいかん) 地下に駐車場があります。

3.路線バス

- ▶市内線①⑭⑰番・市外線④番に乗りし、「首里城公園入口」のバス停にて下車、徒歩約5分で守礼門に到着。
- ▶首里城下町線の⑦⑧番に乗りし、「首里城前」にて下車。徒歩1分で守礼門前に到着。
- ▶市内線の⑨⑬番・市外線②⑤⑦⑮番に乗りし、「山川バス停」にて下車、徒歩15分で守礼門に到着。
- ▶首里杜館駐車場ご利用料金

小型車	最初の60分 400円 以降30分ごと 200円 最大料金 800円
大型バス	30分あたり 600円 最大料金 2,400円

GPSマップ



首里城への
アクセス

※マイクロバス・大型バスはホームページからの予約が必要です。



お問い合わせ

首里城公園管理センター

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地
TEL.098-886-2020(代) FAX.098-886-2022
<https://oki-park.jp/shurijo/>



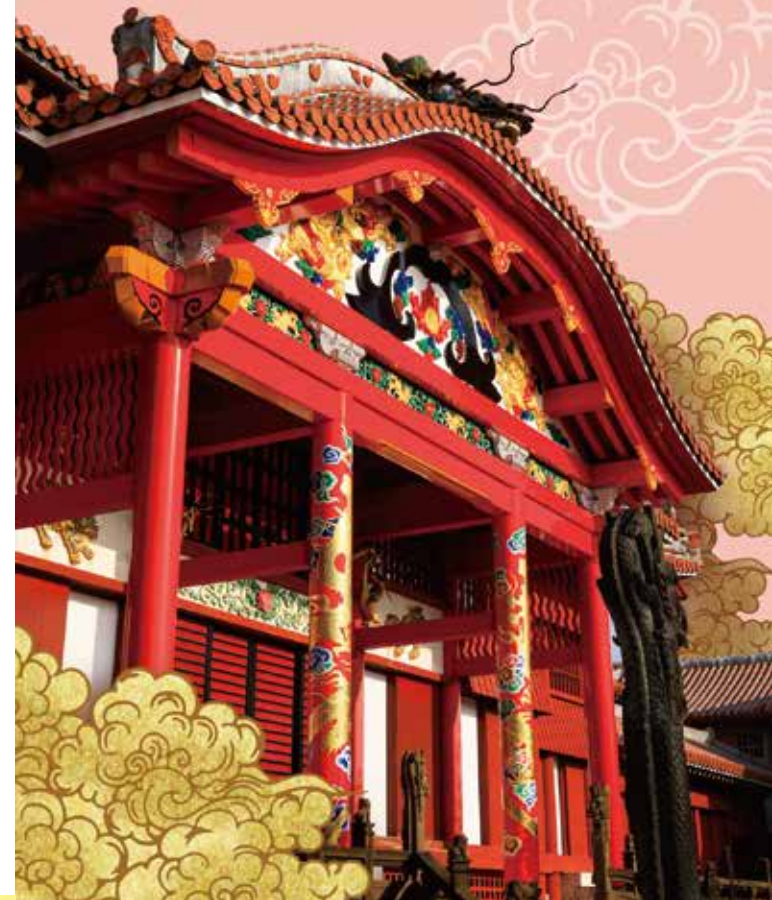
アンケートに
ご協力ください

24.01.230.000

首里城公園

SHURIJO CASTLE PARK

琉球王国の
栄華を物語る
世界遺産



首里城の歴史

首里城は14世紀頃に創建されたといわれ、中国や日本の文化も混合する琉球独特の城で、琉球王国最大の木造建築物でした。首里城は国王とその家族が居住する「王宮」であると同時に、王国統治の行政機関「首里王府」の本部でもあり、さらに各地に配置された神女たちを通して、王国祭祀を運営する宗教上のネットワークの拠点でもありました。

1879年沖縄県となった後は、日本軍の駐屯地、各種の学校等として首里城は使われました。1945年の沖縄戦で焼失し、戦後は琉球大学



戦前の首里城正殿

のキャンパスとなりましたが、大学移転後に復元事業が推進され1992年に首里城公園として開園しました。復元された首里城は、18世紀以降をモデルとしています。

中国	日本	(琉球)	
明	南北朝時代	三山時代	1372 中山王察度、初めて明に使者を送る
	室町時代	尚氏第一	1406 尚思紹(尚巴志の父)中山王になる
	戦国時代		1427 龍潭を掘り、庭園を整備した
	安土桃山時代		1429 尚巴志、三山を統一。琉球王国が成立
清	江戸時代	第二尚氏	1470 尚円、王位につく。瑞泉門を創建
			1508 正殿に青石の石「高欄、大龍柱」設置。この頃北殿創建
	明治		1519 園比屋武御嶽石門を創建
	大正	沖縄県	1609 島津の琉球侵入
中国華		アメリカ統治時代	1621~27 この頃南殿、創建
	昭和		1709 首里城焼失
			1768 正殿の大修理が行われる
	平成	沖縄県	1872 琉球藩設置
中華人民共和国			1879 首里城明け渡し。琉球王国の崩壊 沖縄県誕生
			1925 首里城正殿、国宝に指定される
			1945 沖縄戦により首里城焼失
			1957 園比屋武御嶽石門を復元
			1958 守礼門復元
			1972 日本本土復帰
			1989 首里城正殿、復元工事に着手 南殿・番所・北殿、奉神門等の復元工事も着手される
			1992 首里城公園一部開園
			2000 北殿にて「九州・沖縄サミット」社交夕食会開催。 首里城跡・園比屋武御嶽石門、王陵が世界遺産へ登録される
			2009 書院・鎖之間庭園、国の名勝に指定される
			2019 首里城火災
			2020 首里城再建に向けて始動

女官居室 有料区域



「城人(ぐすくんちゅ)」と呼ばれ、住み込みをしながら国王の身の回りの世話などの職務を行った女官たちの居室です。この建物がある御原は、国王やその家族、首里城に勤める女性たちの空間でした。

ミュージアムショップ球陽

ショップや休憩できるスペースを設けており、首里城オリジナル商品や、お土産を販売しております。 ☎ 開場時間と同じ



系図座・用物座



「系図座」は、士族の家系図を管理していた役所。「用物座」は、城内で使用する物品、資材などを管理していた役所でした。現在は休憩所として使用しているほか、有料の琉球菓子セットをご提供しています。

首里城茶屋

伝統的な琉球菓子をお楽しみいただけます。

- ☎ 9:30 ~ 17:30 (ラストオーダー 17:00)
- ¥ お一人様 800円(税込)



首里杜館



総合案内所やレストラン、カフェ、ショップなど、首里城見学の拠点となる施設です。ぜひ見学前と見学後にお立ち寄りください。



ガイドンスホール

プロジェクションマッピングやビデオ映像等で首里城について学べます。



首里城定食

龍漚ソフト

首里城オリジナルスーベニアカップ

レストラン首里杜

沖縄そばやタコライスなどの沖縄料理をお楽しみいただけます。

- ☎ 11:00 ~ 17:00 (ラストオーダー 16:30)

カフェ龍漚

コーヒー、アイスクリームなど軽食を気軽に楽しみいただけます。

- ☎ 9:00 ~ 17:00 (軽食のラストオーダー 16:30)



エコバッグ
首里城紅型
ハンドバケット
かみまやー

首里城オリジナル手ぬぐい

首里城飴缶

鳳凰シルク扇子

しゅりあめ

記念メダル
セット

ショップ紅型

首里城のオリジナルグッズや、お土産を販売しています。

- ☎ 9:00 ~ 18:00

SUICOCO

沖縄限定のお菓子やドリンクなどを販売しています。

- ☎ 8:00 ~ 18:00

※営業時間や取扱い商品は変更になる可能性や、売り切れの場合があります。詳細はホームページをご確認ください。

再建中の「今」ならではの
 首里城を間近でご覧ください。

2019年10月31日の火災で、正殿を含む9つの施設が焼損しました。

現在は、国内外の多くの皆さまからのご支援をいただき、「見せる復興」をテーマに一歩ずつ着実に復興への歩みを進めています。
 復元工事は正殿から着手しており、建築中に雨風や埃から守る「素屋根」が解体され、約6年ぶりに首里城正殿が沖縄の青空の下に姿を表しました。
 引き続き令和8年秋の完成に向けて、正殿内部や両廊下、仮設階段棟などの施工を行ってまいります。

- 案内所

救護室

駐輪場

飲食店

トイレ

AED
(自動体外式除細動器)

エスカレーター

売店

授乳室

貸出センター
(車イス・杖・ベビーカー)

エレベーター

コインロッカー

おむつ交換台

駐車場

喫煙所

無料区域

有料区域



龍樋 (りゅうひ)

龍の口から水が湧き出ていることが名の由来。瑞泉門の手前にあり、王宮や賓客の大切な飲料水でした。

広福門 (こうふくもん)

券売所

扁額の「広福」とは「福を行き渡らす」という意味。東側は戸籍を管理する「大寺座」、西側は寺や神社を管理する「寺社座」がありました。

奉神門 (ほうしんもん)

改札所

3つの入口のうち、中央の門は国王など限られた身分の高い人だけが通れました。開門を告げる朝の儀式「御開門」を見ることができます。

首里城復興展示室

獅子瓦など火災後の残存物の展示や、首里城復興へのあゆみを映像で紹介しています。展示内容は工事の進捗によって変わります。

世誇殿 (よほこりでん)

国王が亡くなると、次期国王の即位の礼が行われた場所。現在は大型モニターで琉球王国の歴史と首里城正殿遺構の魅力などを紹介しています。

東 (あがり) のアザナ

城郭の東側に築かれた物見台で、首里城公園一帯や那覇の街並みを一望できます。東は日が昇る場所のため方言で「アガリ」と言います。